

授 業 履 修

1. 時間数と単位

(1) 単位

単位とは、一定の学修量を示す基準となるもので、授業科目には種類や講義時間数、実験・実習時間数などによってそれぞれの単位数が定められている。

これらの授業科目を履修し、試験やその他の方法による単位認定に合格すれば単位が修得できる。

(2) 単位の計算方法

授業科目は、その形態により講義、演習、実験・実習又は実技にわかれている。

各授業科目の単位数は、標準として、1単位の授業科目を教室外での学修（自学自習）をもあわせて、45時間の学修を必要とする内容で構成されている。

本学での単位の計算方法については、学則第24条を参照のこと。

(3) CAP制について

①CAP制とは

学生が1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を設定すること。

②CAP制導入の目的

学修すべき授業科目を精選し、履修登録した科目に対して、事前事後も含めた十分な学修時間を確保することが目的である。授業内容を深く身につけ、各学期にわたって適切に授業科目を履修すること。

③上限単位数と対象科目

	国文学科	子ども学科
1年次	50単位以内	60単位以内
2年次	50単位以内	60単位以内

*国文学科における上記制限単位数には、卒業単位に参入しない資格科目は含まない。

*子ども学科における上記制限単位数には、免許・資格単位を含む。

2. 学期と授業時間

(1) 学期

- ・ 春学期 4月1日～9月15日
- ・ 秋学期 9月16日～3月31日

(2) 授業時間

時限	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時
時間	9:05～10:35	10:45～12:15	12:55～14:25	14:35～16:05	16:15～17:45

なお、本学では90分授業で2時間分の授業とみなす。

3. 授業科目

教育課程は、教養科目・専門科目・自由選択科目・教職に関する科目・司書の資格に関する科目・司書教諭の資格に関する科目にわけて編成されている。また、各授業科目には、その内容により必修・選択必修・選択の科目にわけられている。

必修科目	必ず履修し、単位を修得しなければならない科目で、1科目でも単位が修得できなければ卒業できない科目。
選択必修科目	いくつかの科目の中から、履修しようとする科目を選択し、その科目を必ず履修し単位を修得しなければならない科目。
選択科目	履修希望の科目を自由に選択し、単位を修得する科目。

4. 休講・補講・集中講義

(1) 休講

- ・ 大学の行事あるいは授業担当教員のやむを得ない理由により、授業ができなくなった場合には休講となる。
- ・ 休講の掲示がなく、授業開始から30分経過しても授業担当教員が出講しない場合は、学務課に問い合わせること。
- ・ 休講は、学務課掲示板に掲示するので登下校時必ず確認すること。
- ・ 特別警報・暴風警報（暴風雪警報含む）が滋賀県に発令された場合は、次にしたがること。

	気象警報等の解除時刻	授業措置
特別警報 暴風（雪）警報	午前7時までに解除	平常どおり1講時から授業
	午前10時までに解除	3講時から授業
	正午までに解除	4講時から授業
	正午の時点で解除されない	終日休講

- (注) ・ 上記警報が滋賀県では発令されておらず、居住地域（滋賀県外）では発令されている場合、当日出席せず、翌日以降、学務課窓口申し出ること。
- ・ 授業開始後、特別警報・暴風（雪）警報が発令された場合は、掲示・放送などで対応を指示する。
 - ・ 子ども学科の学生で、介護等体験期間中や実習期間中の午前7時の段階で、上記警報が実習中の居住地もしくは介護等体験場所や実習園所在地に発令されている場合、実習を中断し自宅で待機すること。また、午前7時以降に警報が解除された場合も、当該日の介護等体験や実習は一日中断すること。その他、介護等体験中や実習期間中の対応については、実習ガイダンス等で説明する。

- ・ 公共交通機関（JR）が不通の場合は、次にしたがること。

	交通機関の開通	授業措置
交通機関不通	午前7時までに開通	平常どおり1講時から授業
	午前10時までに開通	3講時から授業
	正午までに開通	4講時から授業
	正午の時点で開通しない	終日休講

(注) ・ 対象となる交通機関：滋賀県内のJR北陸本線・JR琵琶湖線

- ・ その他の交通機関が不通で、大学に辿り着くことが困難な場合、欠席した日から起算して1週間以内に学務課窓口申し出ること。
- ・ 気象警報の発令・公共交通機関の不通などにより休講とする場合は、その旨をホームページに掲載するので、確認すること。

(2) 補講

- ・ 休講となった授業に対しては補講を行う。
- ・ 補講は、授業担当教員の判断で授業の空いている時間に行う。補講の日時については、学務課掲示板で連絡する。
- ・ 祝日、教育実習、保育実習で休講となった授業については、振替授業を行う。
- ・ 土曜日に補講日を設けているので、学年暦で確認しておくこと。

(3) 集中講義

一定期間に集中して行う授業で、これらの授業科目は事前におおむねの実施期間を学年暦に示している。日程等の詳細については、その都度掲示するので学務課掲示板を注意すること。

5. 欠席・遅刻・早退・公欠

- (1) 授業科目の出席時数が、開講時数の3分の2未満の者については、原則として単位認定は行わない。ただし、公欠の期間は出席時数に含める。
- (2) 遅刻とは、授業開始後30分以内に教室に入室し受講する場合をいい、早退とは、授業終了の30分以内に退出する場合をいう。遅刻・早退は通算3回をもって欠席1回とみなす。
- (3) 公欠とは、大学が公欠と認めた場合は、その授業を出席として扱う欠席である。次の項目に該当する場合には、願い出によりその欠席を公欠として扱う。
 - ① 忌引き
 - 1 親等（父母）……………7日以内
 - 2 親等（祖父母・兄弟・姉妹）……3日以内
 - 3 親等（おじ・おば）……………1日
 - ② 学校保健安全法施行規則第19条に規定する感染症による出席停止の期間
 - * 医師の診断書もしくは「学校感染症罹患証明書（本学様式）」を添付
 - ③ その他、特に本学が公欠に相当すると認めた場合
- (4) 公共交通機関の遅延・運休に伴い、授業開始までに入室ができない可能性があるときは、まず駅で遅延証明書を取得すること。授業開始後に入室した場合、授業終了後に遅延証明書を直接、担当教員に提出すること。

6. 卒業

本学を卒業するためには、2年以上在学（休学期間を除く）し、下記のとおり単位を修得しなければならない。

学 科	教養科目	専門科目	合 計
国 文 学 科	13 単位以上	50 単位以上	63 単位以上
子 ども 学 科	13 単位以上	50 単位以上	63 単位以上

7. 試験

(1) 試験の方法と時期

- ・ 試験は、通常春・秋学期末に設ける定期試験期間に実施する。ただし、授業科目によっては、実施時期が異なる場合もある。また、授業科目によっては、レポート・作品・実技等により試験を実施する場合もある。指定された期限内に提出されないときは評価されない。
- ・ 春学期定期試験は、7月下旬から8月下旬にかけて、各学科、学年ごとに実施する。
秋学期定期試験は、1月、各学科、学年ごとに実施する。
なお、定期試験日程、時間割はその都度掲示する。

(2) 試験時間

時限	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
時間	10:00～11:00	11:10～12:10	13:00～14:00	14:10～15:10	15:20～16:20

(3) 受験資格

- ・ 次の一つに該当する者は、原則として試験を受けることはできない。
 - ① 授業科目の出席時数が開講時数の3分の2未満の者。
 - ② 授業料等の納付金を指定期間内に納入していない者。
 - ③ 学生証のない者。

(4) 受験心得

- ・ 試験場では、試験監督者の指示にしたがうこと。
- ・ 試験場では、学生証を机上に提示すること。
※学生証を忘れた場合は、学務課で仮学生証（当日限り）の交付をうけることができる。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は電源を切り、かばんの中にしまっておくこと。
- ・ 持ち込みを許可されているノート類は、自筆のものに限る。
- ・ 試験開始後15分以上経過した後の入場は認めない。
また、試験開始後、30分以上経過しなければ退出することはできない。
- ・ 受験上の注意等については、その都度掲示する。

(5) 不正行為

試験中に不正行為があった場合、当該試験科目は0点とする。

8. 単位の認定・成績の評価

(1) 単位の認定

- ・ 単位の認定は、授業科目の出席時数が、授業時間の3分の2未満の者については、単位の認定は行わない。
- ・ 単位の認定は、定期試験（レポート、作品、実技を含む）の成績と平常の成績の評価に基づき行う。

(2) 成績の認定

- 1 成績評価は100点を満点として評点化した後、履修者数に応じて以下の表①または表②のとおり認定、評価し、C評価以上を合格として、単位を認定する。
 - ・ 履修科目がどちらの評価基準によるかは原則各講座における履修者数による。
 - ・ 評価方法については履修者数確定後、担当教員より授業内で伝えるとともに掲示で周知する。
 - ・ 複数学科・学年同時開講の科目、A、Bグループに分かれている同講座名の科目は合計履修者数で算出する。
 - ・ 科目の内、保育実習Ⅰ・Ⅱ、施設実習、教育実習（幼）・（小）、教育実習Ⅱ、ゼミⅠ・Ⅱ、基礎力プログラムⅠ～Ⅳについては履修者数にかかわらず表①を採用する。

成績評価①（表① 履修者数14名以下）

成績評価は、次表のとおり、認定・評価する。合格点は60点以上とし、評価はC評価以上を合格として単位を認定する。

区分	評価	成績評価基準(評点)	G P	評価内容
合格	S (秀)	100～90点	4.0	基本的な学修目標を十分に達成し、 きわめて優秀な成果をおさめている
	A (優)	89～80点	3.0	基本的な学修目標を十分に達成している
	B (良)	79～70点	2.0	基本的な学修目標を達成している
	C (可)	69～60点	1.0	基本的な学修目標を最低限達成している
不合格	D (不可)	59点以下	0.0	基本的な学修目標を達成していない ので再履修が必要である
認定	E (認定)	—	—	本学以外で修得した科目を単位として認めたもの

成績評価②（表② 履修者数15名以上）

成績評価は、次表のとおり上位から10%（±5%）・25%（±5%）・45%（±5%）・20%（±5%）の割合で、認定・評価する。合格点は60点以上とし、評価はC評価以上を合格として単位を認定する。

区分	評価	成績評価基準(分布)	G P	評価内容
合格	S (秀)	10% (±5%)	4.0	基本的な学修目標を十分に達成し、 きわめて優秀な成果をおさめている
	A (優)	25% (±5%)	3.0	基本的な学修目標を十分に達成している
	B (良)	45% (±5%)	2.0	基本的な学修目標を達成している
	C (可)	20% (±5%)	1.0	基本的な学修目標を最低限達成している
不合格	D (不可)	単位修得条件未充足	0.0	基本的な学修目標を達成していない ので再履修が必要である
認定	E (認定)	-	-	本学以外で修得した科目を単位として 認めたもの

2 GPA算出方法

$(4.0 \times \text{秀の修得単位数} + 3.0 \times \text{優の修得単位数} + 2.0 \times \text{良の修得単位数} + 1.0 \times \text{可の修得単位数}) \div \text{総履修登録単位数 (不可の単位数も含む)}$

3 GPAの対象とならない授業科目

1. 履修登録取消の手続きをした科目。
2. 本学以外で修得した科目を単位として認めたもの。

(3) 成績の通知

各学期のはじめに成績票を学務課窓口で本人に配布し、保証人には郵送する。

(4) 成績評価に関する疑義申し立て

- ・ 通知を受けた成績評価について疑義がある者は以下の場合に限り申し立てすることができる。
 - ① 成績の誤記入等、明らかに教員の誤りであると思われるもの。
 - ② シラバス等に記載されている到達目標、成績評価・基準から、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの。
- ・ 成績開示後1週間以内に「成績評価確認願」に記入の上、学務課窓口へ提出すること。
- ・ 正当な理由と認められた場合に限り受け付けるものとする。
- ・ 指定された方法、期間以外の疑義申し立ては一切受け付けない。

(5) 追試験

- ・ 定期試験を次の理由で受けられなかった場合、追試験を受けることができる。
 - ① 火災・風水害・その他の災害を受け、受験不可能となった場合。
 - ② 交通機関の不通・または延着の場合（当該交通機関発行の証明書添付）。
 - ③ 病気により受験不可能になった場合（医師の診断書添付）。
 - ④ 忌引きの場合（会葬礼状等の日時がわかる書類添付）。
 - ⑤ 特別の事情により、事前に事由書（本学様式）を添えて学務課に届け出て許可を得た場合。
- ・ 追試験を受けようとする場合は、事由書（本学様式）と必要添付書類を当該試験翌日（土・日・祝・大学閉校日除く）までに学務課に提出すること（やむをえず翌日までに提出が難しい場合は、学務課へ相談すること）。
- ・ 追試験許可者発表を必ず確認し、期限までに所定の手続きを行うこと。
- ・ 追試験の評価は80%を上限とし、最終評価はS評価を上限とする。
- ・ 指定された日時、内容で行い、受験機会は一度のみとする。

(6) 再試験

- ・ 学修の評価が不可のため単位が認定されない科目については、授業科目担当教員が必要と認めた場合、再試験を行うことがある。
- ・ 再試験を受けようとする場合は、再試験願に受験料（1科目につき2,000円）を添えて総務課会計窓口にて納入手続き後、学務課に願い出ること。
- ・ 再試験の最終評価は、C評価を上限とする。
- ・ 不正行為があった場合は、当該授業科目については再試験を受けることを認めない。
- ・ 再試験を欠席した場合は、評価は不合格とする。

9. 履修

(1) 履修計画

卒業の認定を受けるためには、所定の単位を修得しなければならない。また、卒業と同時に免許・資格を取得するためにはそれぞれ、定められた単位を修得しなければならない。

開講する授業科目のうち、どのような科目を受講するかについては、将来の目標や進路などをよく考え研究し、適切な修学計画を立てること。

(2) 履修登録

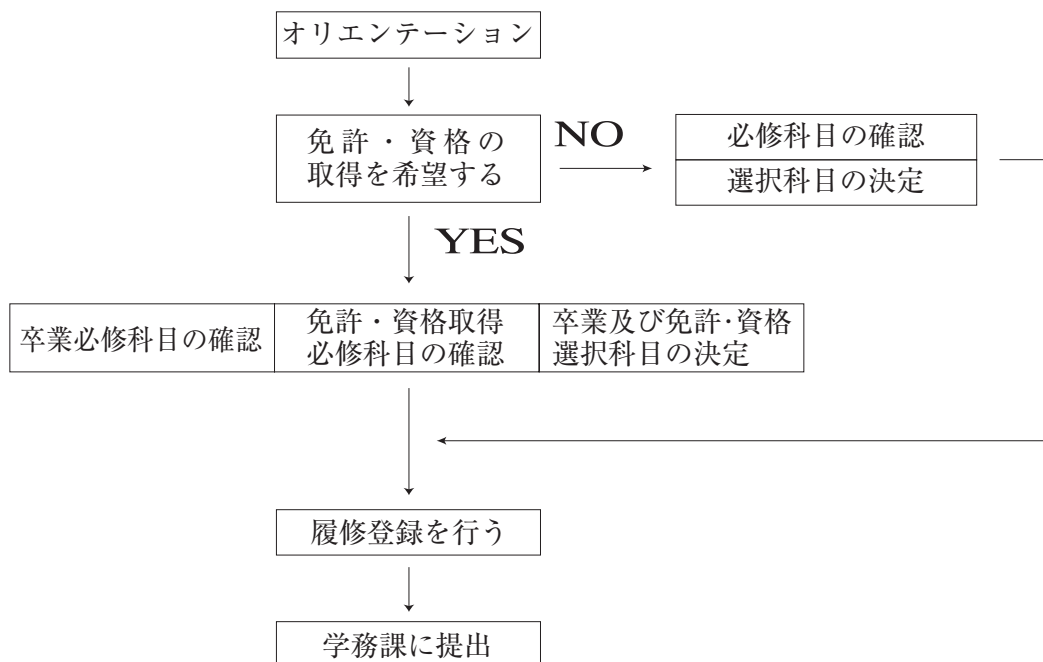
受講を希望する授業科目については履修登録をしなければならない。年度初め、もしくは秋学期の定められた期間中に所定の手続き方法で履修内容を学務課に届け出ることによって登録される。

なお、履修変更期間外に教育実習及び保育実習を取り止める場合は、実習の開始までに履修登録取り消し届を学務課に提出すること。

また、登録手続きに不備がある授業科目については、たとえ授業に出席していても単位は認められないので注意すること。

履修学生数が極端に少ない授業科目は、開講できない場合もある。

図解！オリエンテーションから履修登録の完了まで（概要）



(3) 再履修

- ・ 必修科目の単位を取得できなかった場合は、必ず再履修しなければならない。
- ・ 履修した授業科目の単位が取得できなかった場合は、その授業科目を再履修することができることもある。

(4) 履修登録の日程

平成31 (2019) 年度入学生 (1年生)

項 目	日 程	内 容
講義の開始	4月9日(火)	
履修届提出期間	4月2日(火)～4月9日(火)	春学期の履修登録と秋学期の仮の履修登録を行う。所定の手続き方法で履修内容を学務課に提出すること。(ただし、登録は1年次履修分のみ行う)◎春学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認した上で、提出すること。
秋学期 開講科目履修届変更期間	7月8日(月)～7月12日(金)	秋学期より開講する科目について仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、印かんを持参の上、学務課に願い出ること。願い出のない場合は自動的に本登録される。 ◎秋学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。
2年次 開講科目履修仮登録	12月中旬	2年次の春学期・秋学期開講科目の仮登録を行う。詳細は掲示で連絡する。

平成30 (2018) 年度入学生 (2年生)

項 目	日 程	内 容
講義の開始	4月2日(火)	
春学期 開講科目履修届変更期間	4月2日(火)～4月8日(月)	1年次末に仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、印かんを持参の上、学務課に願い出ること。願い出のない場合は自動的に本登録される。 ◎春学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。
秋学期 開講科目履修届変更期間	7月8日(月)～7月12日(金)	秋学期より開講する科目について仮登録した履修科目の変更を希望する場合のみ、印かんを持参の上、学務課に願い出ること。願い出のない場合は自動的に本登録される。 ◎秋学期開講科目の登録はここで完了となるので、登録漏れがないか各自で十分に確認すること。

- (備考) 1 履修登録および変更手続きは受付期間以外は認めないので注意すること。
2 受付窓口は学務課です。

(5) 環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度

在学中に滋賀県内の他の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。この制度で受講した授業科目の単位は、本学の教養科目の単位として10単位まで認定する。

手続き等の詳細については、学務課で指示を受けること。

10. 開講授業科目

平成31(2019)年度入学生 国文学科 授業科目表

授 業 科 目 名	単 位 数		授 業 形 態	時 数	1 年 次		2 年 次		資 格 の 取 得 (卒業必修科目は除く)	備 考
	必 修	選 択			春 学 期	秋 学 期	春 学 期	秋 学 期		
教 養 科 目	基礎力プログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○				・卒業単位は、教養科目13単位以上、 専門科目50単位以上、計63単位以上
	基礎力プログラムⅡ	1		演習	30		○			
	基礎力プログラムⅢ	1		演習	30			○		
	基礎力プログラムⅣ	1		演習	30				○	
	健康とスポーツ		2	実・講	60	○				
	生命と人間		2	講義	30				○	
	役立つ文章表現	2		講義	30	○				
	英語コミュニケーション		2	演習	60				○	
	湖北の歴史と民俗文化		2	講義	30			○		
	情報とコンピュータ		2	演習	30	○				
	くらしと地域		2	講義	30				○	
	くらしと政治		2	講義	30			○		
	キャリアデザイン	2		講義	30				○	
専 門 科 目	現代文学・文化の科目	日本文学史(近現代)	2		講義	30		○		
		現代の文学		2	講義	30			○	
		近代の文学		2	講義	30				○
		女性文学		2	講義	30			○	
		近現代詩		2	講義	30				○
		現代日本文化		2	講義	30				○
		視覚文化		2	講義	30	○			
		小説		2	講義	30	○			
	古典文学・文化の科目	日本史	2		講義	30	○			
		日本文学史(古代~近世)	2		講義	30	○			
		上代の文学		2	講義	30				○
		中古の文学		2	講義	30			○	
		中世の文学		2	講義	30			○	
		近世の文学		2	講義	30			○	
		和歌		2	講義	30	○			
		俳句		2	講義	30				○
		伝統文化Ⅰ		2	講義	30			○	
	伝統文化Ⅱ		2	講義	30				○	
	言語の科目	日本語学Ⅰ	2		講義	30				○
		日本語学Ⅱ		2	講義	30			○	
		異文化コミュニケーション		2	講義	30				○
	書道の科目	書道Ⅰ		2	演習	30	○			
		書道Ⅱ		2	演習	30				○
		書道Ⅲ		2	演習	30			○	
		書道Ⅳ		2	演習	30				○
		日常書		2	演習	30	○			
専門ゼミ	ゼミⅠ	2		演習	30			○		
	ゼミⅡ	2		演習	30				○	

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		資格の取得 (卒業必修科目は除く)	備考
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期		
司書の資格に関する専門科目	生涯学習概論	2	講義	30	○				◎	
	図書館概論	2	講義	30	○				◎	
	図書館制度・経営論	2	講義	30			○		◎	
	図書館情報技術論	2	講義	30			○		◎	
	図書館サービス概論	2	講義	30		○			◎	
	情報サービス論	2	講義	30		○			◎	
	児童サービス論	2	講義	30				○	◎	
	情報サービス演習Ⅰ	1	演習	30			○		◎	
	情報サービス演習Ⅱ	1	演習	30				○	◎	
	図書館情報資源論	2	講義	30		○			◎	
	情報資源組織論	2	講義	30	○				◎	
	情報資源組織演習Ⅰ	1	演習	30		○			◎	
	情報資源組織演習Ⅱ	1	演習	30			○		◎	
	図書・図書館史	1	講義	15				○	◎	
	図書館施設論	1	講義	15				○	◎	

平成31(2019)年度入学生 子ども学科 授業科目表

小学校の表記は小学校教諭養成コースを、保育士の表記は保育士養成コースを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭	
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士					
教養科目	基礎力プログラムⅠ(初年次教育)	1	演習	30	○	○											・卒業単位は、 教養科目13単 位以上、専門 科目50単位以 上、計63単位 以上
	基礎力プログラムⅡ	1	演習	30			○	○									
	基礎力プログラムⅢ	1	演習	30					○	○							
	基礎力プログラムⅣ	1	演習	30							○	○					
	健康とスポーツ		2	実・講	60	○	○						◎	◎	◎	◎	
	生命と人間		2	講義	30										■		
	役立つ文章表現		2	講義	30	○	○								■		
	英語コミュニケーション		2	演習	60								○	○	◎	◎	
	湖北の歴史と民俗文化		2	講義	30					○	○						
	情報とコンピュータ		2	演習	30							○	○				
	くらしと地域		2	講義	30										■		
	くらしと政治		2	講義	30					○	○				■		
キャリアデザイン	2		講義	30													
児童文学		2	講義	30					○	○							
専門科目 教科及び教科の指導法に関する科目／領域及び保育内容の指導法に関する科目	国語科概論		2	講義	30								◎	○	◎	・免許・資格の 取得欄 1.◎は免許・資 格の必修科目 (卒業必修も 含む) 2.●は2科目以 上2単位以上 を選択する。 3.●1は1科目以 上2単位以上 を選択する。 4.●2は2科目以 上4単位以上 を選択する。 5.□は小学校お よび幼稚園と もに取得しよ うとするもの は選択する。 6.○は2科目以 上4単位以上 を選択する。 7.■は6単位以 上を選択す る。 8.△は6単位以 上を選択する (卒業必修単 位も含む)	
	社会科概論		2	講義	30	○							◎		◎		
	算数科概論		2	講義	30	○	○						◎	○	◎		
	理科概論		2	講義	30	○							◎		◎		
	生活科概論		2	講義	30								◎	○	◎		
	家庭科概論		2	講義	30								●		●		
	英語科概論		2	講義	30	○							◎		◎		
	器楽入門	1		実技	30	○	○										
	音楽Ⅰ(器楽)	1		実技	60												
	音楽Ⅱ(音楽表現法)		1	演習	30					○	○			●	○		●
	音楽Ⅲ		1	実技	30					○	○						
	図画工作Ⅰ	1		演習	30	○	○										
	図画工作Ⅱ		1	演習	30									○	○		●
	体育Ⅰ		1	演習	30									●	○		●
	国語科教育法		2	講義	30	○								◎			◎
	社会科教育法		2	講義	30									◎			◎
	算数科教育法		2	講義	30									◎			◎
	理科教育法		2	講義	30									◎			◎
	生活科教育法		2	講義	30	○								●1			●1
	家庭科教育法		2	講義	30									●1			●1
	音楽科教育法		2	講義	30					○				●2			●2
	図画工作科教育法		2	講義	30					○				●2			●2
	体育科教育法		2	講義	30					○				●2			●2
英語科教育法		2	講義	30									◎		◎		
教育情報処理		2	演習	30									○	○	◎		
保育内容総論		2	演習	30											◎		
保育内容(健康)		2	演習	30					○	○			□	◎	◎		
保育内容(人間関係)		2	演習	30									□	◎	◎		
保育内容(環境)		2	演習	30	○	○							□	◎	◎		
保育内容(言葉)		1	演習	30									□	◎	◎		
保育内容(表現)		1	演習	30	○	○							□	◎	◎		

小学校の表記は小学校教諭養成コースを、保育士の表記は保育士養成コースを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考	
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭		
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士						
教育の基礎的理解に関する科目等	教職概論	2		講義	30	○	○											
	教育原理	2		講義	30			○	○									
	教育心理学		2	講義	30	○	○					◎	◎	△	◎			
	特別支援教育		2	講義	30					○	○		◎	◎	△	◎		
	教育制度論		2	講義	30	○	○						◎	◎	△	◎		
	教育課程論		2	講義	30			○	○				◎	◎		◎		
	道徳の理論と指導法		2	講義	30			○					◎			◎		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	講義	30					○			◎			◎		
	教育方法・技術論		2	講義	30					○	○		◎	◎	△	◎		
	生徒指導及び進路指導論		2	講義	30	○							◎			◎		
	幼児理解と援助		2	講義	30	○	○						□	◎	△			
	教育相談		2	講義	30	○	○						◎	◎	△	◎		
	教職実践演習(幼・小)		2	演習	30							○	○	◎	◎		◎	
	教育実習指導(小)		1	演習	45			○		○				◎			◎	
	教育実習指導(幼)		1	演習	45			○	○	○	○			□	◎			
	教育実習(小)		4	実習	120					集中				◎			◎	
	教育実習(幼)		4	実習	120					集中				◎				
	教育実習Ⅱ		2	実習	80						集中			□				
	日本国憲法		2	講義	30					○	○			◎	◎		◎	
	人権教育	2		講義	30							○	○					
専門科目 保育に関する専門科目	社会福祉	2		講義	30	○	○											
	カウンセリングマインド研究		2	講義	30							○						
	保育原理	2		講義	30	○	○											
	保育者論		2	講義	30								○			◎		
	子どもの食と栄養		2	演習	30								○			◎		
	障害児保育		2	演習	30								○			◎		
	保育実習指導Ⅰ		1	演習	30											◎		
	保育実習指導Ⅱ		1	演習	30					○						◎		
	施設実習指導		1	演習	30											◎		
	保育実習Ⅰ		2	実習	80											◎		
	施設実習		2	実習	80											◎		
	保育実習Ⅱ		2	実習	80					集中						◎		
	保育実践演習		2	演習	30							○				◎		
	保育の計画と評価		2	講義	30					○						◎		
	子ども家庭支援の心理学		2	講義	30		○									◎		
	子育て支援		1	演習	30								○			◎		
	子ども家庭福祉		2	講義	30											◎		
	社会的養護Ⅰ		2	講義	30											◎		
	社会的養護Ⅱ		1	演習	30					○						◎		
	保育の心理学		2	講義	30		○									◎		
	子どもの理解と援助		1	演習	30					○						◎		
	子どもの保健		2	講義	30		○									◎		
	子どもの健康と安全		1	演習	30											◎		
	子ども家庭支援論		2	講義	30								○			◎		
	乳児保育Ⅰ		2	講義	30		○									◎		
	乳児保育Ⅱ		1	演習	30											◎		
子どもと表現		2	演習	30					○						◎			
子どもと造形		1	演習	30											◎			
子どもと言語		1	演習	30		○									◎			
司書教諭の資格に関する科目	学校経営と学校図書館		2	講義	30					○							◎	
	学校図書館メディアの構成		2	講義	30					○							◎	
	学習指導と学校図書館		2	講義	30							○					◎	
	読書と豊かな人間性		2	講義	30							○					◎	
	情報メディアの活用		2	講義	30							○					◎	

平成30(2018)年度入学生 国文学科 授業科目表

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		資格の取得 (卒業必修科目は除く) 司書	備考
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期		
教養科目	基礎力プログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○				・卒業単位は、教養科目13単位以上、専門科目50単位以上、計63単位以上
	基礎力プログラムⅡ	1		演習	30		○			
	基礎力プログラムⅢ	1		演習	30			○		
	基礎力プログラムⅣ	1		演習	30				○	
	健康とスポーツ		2	実・講	60			○		
	生命と人間		2	講義	30				○	
	役立つ文章表現		2	講義	30	○				
	英語コミュニケーション		2	演習	60				○	
	湖北の歴史と民俗文化		2	講義	30			○		
	情報とコンピュータ		2	演習	30		○			
	くらしと地域		2	講義	30	○				
	くらしと政治		2	講義	30			○		
	キャリアデザイン	2		講義	30		○			
専門科目	現代文学・文化の科目	日本文学史(近現代)	2		講義	30		○		
		現代の文学		2	講義	30			○	
		近代の文学		2	講義	30				○
		女性文学		2	講義	30			○	
		近現代詩		2	講義	30				○
		現代日本文化		2	講義	30		○		
		視覚文化		2	講義	30	○			
	小説		2	講義	30	○				
	古典文学・文化の科目	日本史	2		講義	30	○			
		日本文学史(古代～近世)	2		講義	30	○			
		上代の文学		2	講義	30		○		
		中古の文学		2	講義	30			○	
		中世の文学		2	講義	30		○		
		近世の文学		2	講義	30		○		
		和歌		2	講義	30	○			
		俳句		2	講義	30				○
	伝統文化Ⅰ		2	講義	30			○		
	伝統文化Ⅱ		2	講義	30				○	
	言語の科目	日本語学Ⅰ	2		講義	30		○		
		日本語学Ⅱ		2	講義	30			○	
		異文化コミュニケーション		2	講義	30				○
	書道の科目	書道Ⅰ		2	演習	30	○			
		書道Ⅱ		2	演習	30		○		
		書道Ⅲ		2	演習	30			○	
		書道Ⅳ		2	演習	30				○
		日常書		2	演習	30	○			
	専門ゼミ	ゼミⅠ	2		演習	30			○	
ゼミⅡ		2		演習	30				○	

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		資格の取得 (卒業必修科目は除く)	備考
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期	司書	
司書の資格に関する専門科目		2	講義	30	○				◎	
		2	講義	30	○				◎	
		2	講義	30			○		◎	
		2	講義	30			○		◎	
		2	講義	30		○			◎	
		2	講義	30		○			◎	
		2	講義	30				○	◎	
		1	演習	30			○		◎	
		1	演習	30				○	◎	
		2	講義	30		○			◎	
		2	講義	30	○				◎	
		1	演習	30		○			◎	
		1	演習	30			○		◎	
		1	講義	15				○	◎	
		1	講義	15				○	◎	

平成30(2018)年度入学生 子ども学科 授業科目表

小学校の表記は小学校教諭養成コースを、保育士の表記は保育士養成コースを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考	
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭		
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士						
教養科目	基礎力プログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○	○										・卒業単位は、 教養科目13単位以上、専門科目50単位以上、計63単位以上	
	基礎力プログラムⅡ	1		演習	30			○	○									
	基礎力プログラムⅢ	1		演習	30					○	○							
	基礎力プログラムⅣ	1		演習	30							○	○					
	健康とスポーツ		2	実・講	60	○	○					◎	◎	◎	◎			
	生命と人間		2	講義	30							○	○		■			
	役立つ文章表現		2	講義	30	○	○								■			
	英語コミュニケーション		2	演習	60							○	○	◎	◎	■		◎
	湖北の歴史と民俗文化		2	講義	30						○	○						
	情報とコンピュータ		2	演習	30	○	○											
くらしと地域		2	講義	30	○	○									■			
くらしと政治		2	講義	30						○	○				■			
キャリアデザイン	2		講義	30														
専門科目 教職に関する専門科目	国語科概論		2	講義	30								●	○		●	・免許・資格の 取得欄 1.◎は免許・資格の必修科目 (卒業必修も含む) 2.●は3科目以上6単位以上 を選択する。 3.●1は4科目以上8単位以上 を選択する。 4.●2は2科目以上4単位以上 を選択する。 5.□は小学校および幼稚園と もに取得しようとするものは 選択する。 6.○は2科目以上4単位以上 を選択する。 7.■は6単位以上を選択する。 8.△は4単位以上を選択する (卒業必修単位も含む)	
	社会科概論		2	講義	30									●		●		
	算数科概論		2	講義	30	○	○							●	○	●		
	理科概論		2	講義	30	○								●		●		
	生活科概論		2	講義	30									●	○	●		
	家庭科概論		2	講義	30						○			●		●		
	器楽入門	1		実技	30	○	○											
	音楽Ⅰ(器楽)	1		実技	60													
	音楽Ⅱ(音楽表現法)		1	演習	30						○	○		●	○	△		●
	音楽Ⅲ		1	実技	30						○	○		●		△		●
	音楽Ⅳ(器楽)		1	実技	30							○	○	●	○	△		●
	図画工作Ⅰ	1		演習	30	○	○											
	図画工作Ⅱ		1	演習	30							○	○	●	○	△		●
	体育Ⅰ		1	演習	30									●	○	△		●
	体育Ⅱ		1	演習	30							○	○	●	○	△		●
	教育情報処理		2	演習	30							○	○	◎	◎			◎
	児童文学		2	講義	30						○	○						
	教職概論	2		講義	30	○	○											
	教育原理	2		講義	30													
	教育心理学		2	講義	30									◎	◎			◎
教育制度論		2	講義	30	○	○							◎	◎	△	◎		
教育課程論		2	講義	30									◎			◎		
国語科教育法		2	講義	30									●1			●1		
社会科教育法		2	講義	30	○								●1			●1		
算数科教育法		2	講義	30									●1			●1		
理科教育法		2	講義	30									●1			●1		
生活科教育法		2	講義	30	○								●1			●1		
家庭科教育法		2	講義	30						○			●1			●1		
音楽科教育法		2	講義	30						○			●2			●2		
図画工作科教育法		2	講義	30						○			●2			●2		
体育科教育法		2	講義	30						○			●2			●2		
道徳教育の研究		2	講義	30									◎			◎		
特別活動の研究		2	講義	30						○			◎			◎		
教育方法の研究		2	講義	30						○	○		◎	◎		◎		
保育課程論		2	講義	30						○	○		□	◎	◎			
保育内容総論		2	演習	30									□		◎			
保育内容(健康)		2	演習	30								○	○	□	◎	◎		
保育内容(人間関係)		2	演習	30						○	○		□	◎	◎			

小学校の表記は小学校教諭養成コースを、保育士の表記は保育士養成コースを表す。

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次				2年次				免許・資格の取得 (卒業必修科目は除く)				備考
	必修	選択			春学期		秋学期		春学期		秋学期		小学校	幼稚園	保育士	司書教諭	
					小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士	小学校	保育士					
教職に関する専門科目	保育内容(環境)	2	演習	30	○	○							□	○	○		
	保育内容(言葉)	1	演習	30			○	○					□	○	○		
	保育内容(表現)	1	演習	30	○	○							□	○	○		
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	2	講義	30	○								○				○
	教育相談	2	講義	30			○						○				○
	幼児理解と援助	2	講義	30	○	○							□	○	△		
	保育相談	2	演習	30						○	○		□	○	○		
	教職実践演習(幼・小)	2	演習	30						○	○		○	○			○
	教育実習指導(小)	1	演習	45			○		○				○				○
	教育実習指導(幼)	1	演習	45			○	○	○	○			□	○			
	教育実習(小)	4	実習	120					集中				○				○
	教育実習(幼)	4	実習	120					集中	集中			○				
	教育実習Ⅱ	2	実習	80						集中	集中		□				
	日本国憲法	2	講義	30					○	○			○	○			○
	人権教育	2	講義	30							○	○	○	○	△		○
専門科目 保育に関する専門科目	社会福祉	2	講義	30	○	○											
	相談援助	1	演習	30						○						○	
	児童家庭福祉	2	講義	30		○										○	
	カウンセリングマインド研究	2	講義	30						○						○	
	保育原理	2	講義	30	○	○											
	社会的養護	2	講義	30				○									○
	保育者論	2	講義	30							○						○
	保育の心理学Ⅰ	2	講義	30		○											○
	保育の心理学Ⅱ	1	演習	30					○								○
	子どもの保健Ⅰ	2	講義	30		○											○
	子どもの保健Ⅱ	2	講義	30				○									○
	子どもの保健Ⅲ	1	演習	30				○									○
	子どもの食と栄養	2	演習	30							○						○
	家庭支援論	2	講義	30						○							○
	乳児保育	2	演習	30													○
	障害児保育	2	演習	30						○							○
	社会的養護内容	1	演習	30						○							○
	音楽表現	1	演習	30				○									○
	造形表現	1	演習	30							○						○
	身体表現	1	演習	30							○						○
言語表現	1	演習	30		○											○	
保育実習指導Ⅰ	1	演習	30				○									○	
保育実習指導Ⅱ	1	演習	30					○								○	
施設実習指導	1	演習	30				○									○	
保育実習Ⅰ	2	実習	80				集中									○	
施設実習	2	実習	80				集中									○	
保育実習Ⅱ	2	実習	80					集中	集中							○	
保育実践演習	2	演習	30							○						○	
司書教諭の資格に関する科目	学校経営と学校図書館	2	講義	30					○								○
	学校図書館メディアの構成	2	講義	30					○								○
	学習指導と学校図書館	2	講義	30						○							○
	読書と豊かな人間性	2	講義	30						○							○
	情報メディアの活用	2	講義	30						○							○

平成30(2018)年度入学生 国文学科(留学生) 授業科目表

授業科目名	単位数		授業形態	時数	1年次		2年次		備考	
	必修	選択			春学期	秋学期	春学期	秋学期		
教養科目	基礎力プログラムⅠ(初年次教育)	1		演習	30	○			卒業単位は、教養科目13単位以上、専門科目50単位以上、計63単位以上	
	基礎力プログラムⅡ	1		演習	30		○			
	基礎力プログラムⅢ	1		演習	30			○		
	基礎力プログラムⅣ	1		演習	30					○
	健康とスポーツ		2	実・講	60			○		
	生命と人間		2	講義	30					○
	英語コミュニケーション		2	演習	60					○
	湖北の歴史と民俗文化		2	講義	30			○		
くらしと地域		2	講義	30	○					
専門科目	日本史	2		講義	30	○				
	中古の文学		2	講義	30			○		
	俳句		2	講義	30					○
	伝統文化Ⅰ		2	講義	30			○		
	伝統文化Ⅱ		2	講義	30					○
	異文化コミュニケーション		2	講義	30					○
	書道Ⅰ		2	演習	30	○				
	書道Ⅱ		2	演習	30			○		
	書道Ⅲ		2	演習	30			○		
	書道Ⅳ		2	演習	30					○
	日本語Ⅰ(総合)1	2		講義	30	○				
	日本語Ⅰ(総合)2	2		講義	30			○		
	日本語Ⅰ(総合)3	2		講義	30			○		
	日本語Ⅰ(総合)4	2		講義	30					○
	日本語Ⅱ(会話)1	2		講義	30	○				
	日本語Ⅱ(会話)2	2		講義	30			○		
	日本語Ⅲ(文法)1	2		講義	30	○				
	日本語Ⅲ(文法)2	2		講義	30			○		
	日本語Ⅲ(文法)3	2		講義	30			○		
	日本語Ⅳ(聴解)1	2		講義	30	○				
	日本語Ⅳ(聴解)2	2		講義	30			○		
	日本語Ⅴ(読解)1	2		講義	30			○		
	日本語Ⅴ(読解)2	2		講義	30			○		
日本語Ⅴ(読解)3	2		講義	30				○		
日本語Ⅵ(作文)1	2		講義	30			○			
日本語Ⅵ(作文)2	2		講義	30				○		
日本理解Ⅰ	2		講義	30			○			
日本理解Ⅱ	2		講義	30				○		

11. 免許・資格

(1) 本学で取得できる免許・資格

○印は取得できる免許状・資格を示している。

	国文学科	子ども学科	
	日本文学コース	小学校教諭 養成コース	保育士 養成コース
小学校教諭二種免許状		○	
幼稚園教諭二種免許状		○	○
学校図書館司書教諭資格		○	
司書資格	○		
保育士資格			○

(注) 学校図書館司書教諭資格には教員免許状が必要である。

(2) 教員免許更新制について

平成21年4月より教員免許更新制が導入され、教員免許状の有効期限が10年間と定められた。ただし、有効期限は、免許状更新講習を修了することで更新することができるが、免許状更新講習の修了確認を受けなかった場合は、免許状はその効力を失うこととなっている。

(3) 教員免許状および保育士資格

- ・教員免許状取得のために必要な履修科目等は、次のとおりとする。(別表1・2)
 1. 66条の6に定める科目
 2. 教科に関する科目、教職に関する科目、教科又は教職に関する科目
 3. 小学校教諭二種免許状を取得する者は、特別支援学校及び定められた社会福祉施設等で7日間の介護等の体験
- ・保育士資格取得のために必要な履修科目等は、別表3のとおりとする。

1 小学校教諭二種免許状【平成31（2019）年度 入学生】

免許法に定める科目及び単位数			本学における科目及び単位数			
			授業科目名	必修	選択	備考
66条の6に定める科目	日 本 国 憲 法	2 単 位	日 本 国 憲 法	2		
	体 育	2 単 位	健 康 と ス ポ ー ツ	2		
	外国語コミュニケーション	2 単 位	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2		
	情 報 機 器 の 操 作	2 単 位	教 育 情 報 処 理	2		
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	16	国 語 科 概 論	2		必修科目を除く4科目のうち、2科目2単位以上を選択必修
	社 会 科		社 会 科 概 論	2		
	算 数 科		算 数 科 概 論	2		
	理 科		理 科 概 論	2		
	生 活 科		生 活 科 概 論	2		卒業必修
	音 楽		音 楽 I（器 楽）	1		
			音 楽 II（音 楽 表 現 法）		1	卒業必修
	図 画 工 作		図 画 工 作 I	1		
			図 画 工 作 II		1	
	家 庭 科		家 庭 科 概 論		2	
	体 育		体 育 I		1	
外 国 語	英 語 科 概 論	2				
教科及び教科の指導法に関する科目						
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	6以上の教科の指導法に関する科目（音楽、図画工作又は体育の指導法に関する科目のうち2以上を含む。）にそれぞれ1単位以上を修得する。	国 語 科 教 育 法	2		・生活科教育法、家庭科教育法のうち1科目2単位以上選択必修。
	社 会 科		社 会 科 教 育 法	2		
	算 数 科		算 数 科 教 育 法	2		
	理 科		理 科 教 育 法	2		
	生 活 科		生 活 科 教 育 法		2	・音楽科教育法、図画工作科教育法又は体育科教育法のうち2科目4単位以上選択必修。
	音 楽		音 楽 科 教 育 法		2	
	図 画 工 作		図 画 工 作 科 教 育 法		2	
	家 庭 科		家 庭 科 教 育 法		2	
	体 育		体 育 科 教 育 法		2	
	外 国 語		英 語 科 教 育 法	2		

免許法に定める科目及び単位数				本学における科目及び単位数			
				授業科目名	必修	選択	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	1 単位以上 修得	教育原理	2		卒業必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教職概論	2		卒業必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育制度論	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	6	1 単位以上 修得	道徳の理論と指導法	2		
	・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			教育方法・技術論	2		
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			生徒指導及び進路指導論	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2		
教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習指導（小）	1		
	学校体験活動			教育実習（小）	4		
	教職実践演習			2	教職実践演習（幼・小）	2	
大学が独自に設定する科目	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得						

1 小学校教諭二種免許状【平成30（2018）年度 入学生】

	免許法に定める科目及び単位数		本学における科目及び単位数				
			授業科目名	必修	選択	備考	
66条の6に定める科目	日 本 国 憲 法	2 単位	日 本 国 憲 法	2			
	体 育	2 単位	健康とスポーツ	2			
	外国語コミュニケーション	2 単位	英語コミュニケーション	2			
	情報機器の操作	2 単位	教育情報処理	2			
教科に関する科目	国 語（書写を含む。）	1以上の科目について4単位以上を修得する。	国 語 科 概 論		2	音楽Ⅰ（器楽）、図画工作Ⅰの他3科目以上6単位以上選択必修 卒業必修 卒業必修	
	社 会		社 会 科 概 論		2		
	算 数		算 数 科 概 論		2		
	理 科		理 科 概 論		2		
	生 活		生 活 科 概 論		2		
	音 楽		音楽Ⅰ（器 楽）	1			
			音楽Ⅱ（音楽表現法）		1		
			音楽Ⅳ（器 楽）		1		
	図 画 工 作		図 画 工 作 Ⅰ	1			
			図 画 工 作 Ⅱ		1		
	家 庭		家 庭 科 概 論		2		
体 育	体 育 Ⅰ		1				
	体 育 Ⅱ		1				
教科又は教職に関する科目		2 単位	4 単位を超えて修得した「教科に関する科目」			4 単位を超えて修得した単位	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2 単位	教 職 概 論	2		卒業必修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4 単位	教 育 原 理	2		卒業必修
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教 育 心 理 学		2			
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教 育 制 度 論		2			

	免許法に定める科目及び単位数		本学における科目及び単位数					
			授業科目名	必修	選択	備考		
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・各教科の指導法	14単位	教育課程論	2		8単位以上を選択必修	
				国語科教育法		2		
			社会科教育法		2			
			算数科教育法		2			
			理科教育法		2			
			生活科教育法		2			
			家庭科教育法		2			
			・道徳の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		音楽科教育法		2	4単位以上を選択必修
				図画工作科教育法		2		
				体育科教育法		2		
				道徳教育の研究	2			
				特別活動の研究	2			
				教育方法の研究	2			
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4単位	生徒指導の研究(進路指導を含む)	2				
			教育相談	2				
教育実習		5単位	教育実習指導(小)	1				
			教育実習(小)	4				
教職実践演習		2単位	教職実践演習(幼・小)	2				

2 幼稚園教諭二種免許状【平成31（2019）年度 入学生】

免許法に定める科目及び単位数			本学における科目及び単位数				
			授業科目名	必修	選択	備考	
66条の6 に定める 科目	日 本 国 憲 法	2単位	日 本 国 憲 法	2			
	体 育	2単位	健 康 と ス ポ ー ツ	2			
	外国語コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーション	2			
	情報機器の操作	2単位	教育情報処理	2			
領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項 （情報機器及び保育内容の指導法の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	12	1以上の科目について4単位以上を修得する	国 語 科 概 論		2	音楽I（器楽）、 図画工作Iの ほか、2科目 以上4単位以 上選択必修
	算 数			算 数 科 概 論		2	
	生 活			生 活 科 概 論		2	卒業必修
	音 楽			音 楽 I（器 楽）	1		
	図 画 工 作			図 画 工 作 II		1	卒業必修
	体 育			体 育 I		1	
	保育内容（健康）					保 育 内 容（健 康）	2
	保育内容（人間関係）	保 育 内 容（人 間 関 係）	2				
	保育内容（環境）	保 育 内 容（環 境）	2				
	保育内容（言葉）	保 育 内 容（言 葉）	1				
	保育内容（表現）	保 育 内 容（表 現）	1				

免許法に定める科目及び単位数				本学における科目及び単位数				
				授業科目名	必修	選択	備考	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	1単位以上 修得	教育原理	2		卒業必修
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教職概論	2		卒業必修
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育制度論	2		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育	2		
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			教育課程論	2		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4		教育方法・技術論	2		
		幼児理解の理論及び方法			幼児理解と援助	2		
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			教育相談	2		
	教育実践に関する科目	教育実習	7	5	教育実習指導（幼）	1		
					教育実習（幼）	4		
					教育実習Ⅱ		2	
学校体験活動								
教職実践演習	2	2						
大学が独自に設定する科目	最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得							

2 幼稚園教諭二種免許状【平成30（2018）年度 入学生】

	免許法に定める科目及び単位数		本学における科目及び単位数				
			授業科目名	必修	選択	備考	
66条の6に定める科目	日 本 国 憲 法	2 単位	日 本 国 憲 法	2			
	体 育	2 単位	健康とスポーツ	2			
	外国語コミュニケーション	2 単位	英語コミュニケーション	2			
	情報機器の操作	2 単位	教育情報処理	2			
教科に関する科目	国 語（書写を含む。）	1以上の科目について4単位以上を修得する。	国 語 科 概 論		2	音楽Ⅰ(器楽)、 図画工作Ⅰの 他2科目以上 4単位以上選 択必修 卒業必修 卒業必修	
	算 数		算 数 科 概 論		2		
	生 活		生 活 科 概 論		2		
	音 楽		音楽Ⅰ(器 楽)	1			
			音楽Ⅱ(音楽表現法)		1		
			音楽Ⅳ(器 楽)		1		
	図 画 工 作		図 画 工 作 Ⅰ	1			
	体 育		図 画 工 作 Ⅱ		1		
	体 育 Ⅰ		1				
	体 育 Ⅱ		1				
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2 単位	教 職 概 論	2		卒業必修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	4 単位	教 育 原 理	2		卒業必修
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教 育 心 理 学	2		
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教 育 制 度 論	2					

	免許法に定める科目及び単位数		本学における科目及び単位数				
			授業科目名	必修	選択	備考	
教職に関する科目	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	12単位	保育課程論	2		
				・保育内容の指導法	保育内容(健康)	2	
		保育内容(人間関係)			2		
		保育内容(環境)			2		
		保育内容(言葉)			1		
		保育内容(表現)			1		
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法の研究	2				
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	2単位	幼児理解と援助	2		
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		保育相談	2		
	教育実習		5単位	教育実習指導(幼)	1		
教育実習(幼)				4			
教育実習Ⅱ					2		
教職実践演習		2単位	教職実践演習(幼・小)	2			

3 保育士資格【平成31（2019）年度 入学生】

告示による教科目				本学における科目及び単位数		
	系列	教科目	単位数	教科目	単位数	備考
選択必修科目	教養科目	外国語・体育以外の科目	6以上	くらしと地域	2	6単位以上 選択必修
				くらしと政治	2	
				役立つ文章表現	2	
				生命と人間	2	
		外国語	2以上	英語コミュニケーション	2	必修
		体育（講義）	1	健康とスポーツ	2	
体育（実技）	1					
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	卒業必修
		教育原理	2	教育原理	2	
		子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	
		社会福祉	2	社会福祉	2	
		子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	
		社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	2	
		保育者論	2	保育者論	2	
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	保育の心理学	2	卒業必修
		子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	
		子どもの理解と援助	1	子どもの理解と援助	1	
		子どもの保健	2	子どもの保健	2	
		子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	保育の計画と評価	2	卒業必修
		保育内容総論	1	保育内容総論	2	
		保育内容演習	5	保育内容（健康）	2	
				保育内容（人間関係）	2	
				保育内容（環境）	2	
				保育内容（言葉）	1	
				保育内容（表現）	1	
		保育内容の理解と方法	4	子どもと表現	2	
				子どもと造形	1	
				子どもと言語	1	
		乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	2	
		乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	
		子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	
		障害児保育	2	障害児保育	2	
		社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	
	子育て支援	1	子育て支援	1		
	保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ	2	
				施設実習	2	
保育実習指導Ⅰ		2	保育実習指導Ⅰ	1		
			施設実習指導	1		
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2		

告示による教科目				本学における科目及び単位数		
	系列	教科目	単位数	教科目	単位数	備考
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	15以上	教育相談	2	卒業必修 6単位以上 選択必修 卒業必修
				教育制度論	2	
	教職概論			2		
	幼児理解と援助			2		
	特別支援教育			2		
	人権教育			2		
	教育方法・技術論			2		
	保育の内容・方法に関する科目			教育心理学	2	
	保育実習	保育実習Ⅱ 又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	必修
保育実習指導Ⅱ 又は保育実習指導Ⅲ		1	保育実習指導Ⅱ	1	必修	

3 保育士資格【平成30（2018）年度 入学生】

選択必修科目	告示による教科目			本学における科目及び単位数			
	系 列	教 科 目	単位数	授業科目名	単位数	備 考	
教養科目	外国語・体育以外の科目		6以上	くらしと地域	2	6単位以上 選択必修	
				くらしと政治	2		
				役立つ文章表現	2		
				生命と人間	2		
	外国語	2以上	英語コミュニケーション	2	必修		
	体育(講義)1		健康とスポーツ	2			
体育(実技)1							
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	2	卒業必修	
		教育原理	2	教育原理	2		
		児童家庭福祉	2	児童家庭福祉	2		
		社会福祉	2	社会福祉	2		卒業必修
		相談援助	1	相談援助	1		
		社会的養護	2	社会的養護	2		
		保育者論	2	保育者論	2		
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学Ⅰ	2	保育の心理学Ⅰ	2		
		保育の心理学Ⅱ	1	保育の心理学Ⅱ	1		
		子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	2		
				子どもの保健Ⅱ	2		
		子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅲ	1		
		子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2		
	家庭支援論	2	家庭支援論	2			
	保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	2	保育課程論	2		
		保育内容総論	1	保育内容総論	2		
		保育内容演習	5	保育内容(健康)	2		
				保育内容(人間関係)	2		
				保育内容(環境)	2		
				保育内容(言葉)	1		
				保育内容(表現)	1		
乳児保育		2	乳児保育	2			
障害児保育		2	障害児保育	2			
社会的養護内容		1	社会的養護内容	1			
保育相談支援	1	保育相談	2				
保育の表現技術	保育の表現技術	4	音楽表現	1			
			造形表現	1			
			身体表現	1			
			言語表現	1			
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ	2			
			施設実習	2			
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ	1			
			施設実習指導	1			
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2			

	告示による教科目			本学における科目及び単位数			
	系 列	教 科 目	単位数	授業科目名	単位数	備 考	
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	15	カウンセリングマインド研究	2	必修	
	保育の対象の理解に関する科目			教 育 制 度 論	2		
				幼 児 理 解 と 援 助	2		
	保育の内容・方法に関する科目			人 権 教 育	2		4 単位以上 選択必修
				保育の表現技術	器 楽 入 門	1	
	音 楽 I (器 楽)				1		
	音 楽 II (音楽表現法)				1	卒業必修	
	音 楽 III				1		
	音 楽 IV (器 楽)				1		
	図 画 工 作 I				1		
	図 画 工 作 II				1		
	体 育 I				1		
	体 育 II			1			
	保育実習			保 育 実 習 II 又は保育実習 III	2	保 育 実 習 II	2
保 育 実 習 指 導 II 又は保育実習指導 III		1	保 育 実 習 指 導 II	1	必修		

(4) 司書教諭

司書教諭とは、小学校・中学校・高等学校等の学校図書館で専門的職務に従事する教員のこと、資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動や情報活用に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用の中心的な役割を担っている。

司書教諭の資格を取得するには、教員免許状を有し、司書教諭に関する単位を修得しなければならない。

司書教諭講習規程に定める科目及び単位数		本学における開講科目及び単位数	
科目名	単位数	科目名	単位数
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2

(5) 司書

司書とは、図書館法で規定された公共図書館の専門職員のこと、図書館で資料の選択・収集・分類・目録作成等の業務や、利用者の求めに応じた資料・情報を提供するサービス等を行う。

	図書館法に定める科目及び単位数		本学における開講科目及び単位数	
	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
	図書館概論	2	図書館概論	2
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2
	情報サービス論	2	情報サービス論	2
	児童サービス論	2	児童サービス論	2
	情報サービス演習	2	情報サービス演習Ⅰ	1
			情報サービス演習Ⅱ	1
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源論	2
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2
情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	1	
		情報資源組織演習Ⅱ	1	
選択科目	図書・図書館史	1	図書・図書館史	1
	図書館施設論	1	図書館施設論	1
	資格取得のための最低単位数	24	資格取得のための最低単位数	24

12. 教育実習

本学では、小学校教諭二種免許状を取得するために「教育実習（小）」、幼稚園教諭二種免許状を取得するために「教育実習（幼）」を履修しなければならない。

なお、小学校教諭二種免許状及び幼稚園教諭二種免許状をともに取得するためには、「教育実習（小）」、「教育実習Ⅱ」を履修しなければならない。

実習に関する詳細は、実習ガイダンス等で説明する。

(1) 履修の条件

実習科目の履修については、次の履修条件を満たし且つ保育・教育実習運営委員会（以下「委員会」という。）から、本学の学生として履修するに適正と認められなければならない。

- ① 授業等において学修意欲や態度、出席状況等が良好であること。ただし、出席状況について、委員会から特別な事情による欠席と認められた場合、その限りではない。
- ② 本学が指定する各実習施設への見学実習等に参加すること。ただし、委員会から特別な事情による欠席と認められた場合はその限りではない。
 - ・見学実習は、授業などで指定するので参加すること。
 - ・実習までに学校（園）、保育所インターンシップを修了すること。
- ③ 実習時において不認定の単位が2科目以上ないこと。
- ④ 前項に関わらず、各実習前において次に掲げる事項に該当しないこと。ただし、下記でいう単位の不認定は、単位の認定前に不認定が明らかな場合を含む。
 - ・「教育実習（幼）」履修者は、「教育実習指導（幼）」、「保育実習指導Ⅰ」、「保育実習Ⅰ」、「施設実習指導」、「施設実習」の単位の不認定がないこと。
 - ・「教育実習（小）」履修者は、「教育実習指導（小）」の単位の不認定がないこと。
 - ・「教育実習Ⅱ」履修者は、「教育実習指導（幼）」、「教育実習指導（小）」、「教育実習（小）」の単位の不認定がないこと。
 - ・「教育実習（幼）」履修者は、「保育実習Ⅰ」、「施設実習」の履修判定が不可でないこと。
- ⑤ 委員会が指定した期間の成績評価（再試験を含めた評価）が、GPA2.0未満でないこと。ただし、委員会から履修について適正と認められた場合はその限りではない。
- ⑥ 実習に係るガイダンスに出席し、事務手続きをすべて済ませていること。ただし、委員会から履修について適正と認められた場合はその限りではない。
- ⑦ 伝染性疾病その他実習を行うに障害となる疾病等を有しないこと。
- ⑧ 学則第48条（罰則）にかからないこと。

※ 保育士養成コースで、入学当初の科目履修にて保育士資格または幼稚園教諭二種免許状いずれか一つのみを取得するための科目を登録した場合は、④は適用しない。

(2) 実習期間

科目名	実習校・園	実習期間	備考
教育実習（小）	小学校	実習校が指定した期間	3週間
教育実習（幼）	幼稚園・幼保連携型認定こども園	実習園が指定した期間	3週間
教育実習Ⅱ			2週間

※実習期間は変更となることもある。

(3) 実習ガイダンス

「教育実習（小）」、「教育実習（幼）」「教育実習Ⅱ」を履修しようとする者は、本学が実施する実習ガイダンスに必ず出席しなければならない。出席しない場合は、原則として履修を認めない。

なお、実習ガイダンスでは、実習に係る手続き等の説明を行う。

(4) 実習校・実習園、実習費

- ・実習校・実習園は、原則的に実習生が事前に内諾を得ること。
- ・教育実習に必要な費用は、実習生が支払うこと。

(5) 保険、検便

- ・「学生教育研究災害傷害保険」、「学研災付帯賠償責任保険」に加入すること。
- ・検便（赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌O-157・O-111・O-26等）の結果により、陰性が認められていること。

(6) 実習期間中の欠席

実習期間中の欠席は、実習期間終了後、実習校・実習園の事情の許す範囲内において、欠席期間の実習を実施しなければならない。なお、正当な理由がなく3日以上欠席した場合には、実習を中止させることもある。

(7) その他

その他実習に関わることについては、実習ガイダンスで配付する「実習の手引き」に記載する。

13. 介護等体験

小学校教諭免許状を取得しようとする者は、「介護等体験」が義務づけられている。社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間の計7日間の介護等体験を行う。

介護等体験に関する詳細は、ガイダンス等で説明する。

(1) 介護等体験参加の条件

介護等体験に参加するためには、小学校教諭二種免許状を取得することを目指している者で、次の条件を満たし、本学学生として参加するに適正と認められなければならない。

- ① 本学が指定する介護等体験にかかわるガイダンス等に必ず参加すること。ただし、介護等体験担当教員から特別な事情による欠席と認められた場合は、その限りでない。
- ② 教育実習（小）の履修判定が不可でないこと。
- ③ 介護等体験に係るガイダンスに出席し、事務手続きをすべて済ませていること。
- ④ 伝染性疾患その他介護等体験を行うに障害となる疾病等を有しないこと。
- ⑤ 学則第48条（罰則）にかからない者。

(2) 実施施設・学校、実施期間

実施施設・学校	期間と期日	
社会福祉施設等（保育所を除く）	2年次の月曜から金曜日の連続した5日間	計7日間
特別支援学校	2年次の月曜から金曜日の連続した2日間	

(3) ガイダンス

「介護等体験」に参加しようとする者は、本学が実施する実習ガイダンスに必ず出席しなければならない。出席しない場合は、原則として介護等体験に参加できない。

年次	時期、時間数	内 容	使用テキスト
1年次	2月中旬の2日間	・介護等体験の概要・学生の心得 ・社会福祉施設等における介護等体験（知的障害者更生施設、指定介護老人福祉施設等） ・特別支援学校における介護等体験	・特別支援学校における介護等体験ガイドブック「フィリア」「フィリアⅡ」（全国特別支援学校長会編著） ・「よくわかる社会福祉施設」教員免許志願者のためのガイドブック（全国社会福祉協議会）
1年次 ～ 2年次	3月末～4月上旬の1日	・注意事項 ・申請書類等の作成	

(4) 費用

- ・社会福祉施設等における費用は、各都道府県社会福祉協議会の規定による。
- ・特別支援学校における費用は、徴収しない。ただし、必要な経費の実費を徴収する場合がある。

(5) 保険等

- ・「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入するものとする。また、健康診断書の提出を求められた際には提出しなければならない。

(6) 申し込み等（事務手続き）

「介護等体験」の申し込み、手続き等の日時、場所等については掲示等で通知する。

(7) その他

その他介護等体験に関わることについては、実習ガイダンスで配付する「実習の手引き」に記載する。

14. 保育実習

本学では、保育士資格を取得するために、「保育実習Ⅰ」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」を履修しなければならない。

実習に関する詳細は実習ガイダンス等で説明する。

(1) 履修の条件

実習科目の履修については、次の履修条件を満たし且つ保育・教育実習運営委員会（以下「委員会」という。）から、本学の学生として履修するに適正と認められなければならない。

- ① 授業等において学修意欲や態度、出席状況等が良好であること。ただし、出席状況について、委員会から特別な事情による欠席と認められた場合、その限りではない。
- ② 本学が指定する各実習施設への見学実習等に参加すること。ただし、委員会から特別な事情による欠席と認められた場合はその限りではない。
 - ・ 見学実習は、授業などで指定するので参加すること。
 - ・ 実習までに学校（園）、保育所インターンシップを修了すること。
- ③ 実習時において不認定の単位が2科目以上ないこと。
- ④ 前項に関わらず、各実習前において次に掲げる事項に該当しないこと。ただし、下記でいう単位の不認定は、単位の認定前に不認定が明らかな場合を含む。
 - ・ 「保育実習Ⅰ」履修者は、「保育実習指導Ⅰ」、「施設実習指導」の単位の不認定がないこと。
 - ・ 「施設実習」履修者は、「保育実習指導Ⅰ」、「保育実習Ⅰ」、「施設実習指導」の単位の不認定がないこと。
 - ・ 「保育実習Ⅱ」履修者は、「保育実習指導Ⅰ」、「保育実習Ⅰ」、「施設実習指導」、「施設実習」、「保育実習指導Ⅱ」、「教育実習指導（幼）」の単位の不認定がないこと。
 - ・ 「保育実習Ⅱ」履修者は、「保育実習Ⅰ」、「施設実習」の履修判定が不可でないこと。
- ⑤ 委員会が指定した期間の成績評価（再試験を含めた評価）が、GPA2.0未満でないこと。ただし、委員会から履修について適正と認められた場合はその限りではない。
- ⑥ 実習に係るガイダンスに出席し、事務手続きをすべて済ませていること。ただし、委員会から履修について適正と認められた場合はその限りではない。
- ⑦ 伝染性疾患その他実習を行うに障害となる疾病等を有しないこと。
- ⑧ 学則第48条（罰則）にかからないこと。

※ 保育士養成コースで、入学当初の科目履修にて保育士資格または幼稚園教諭二種免許状いずれか一つのみを取得するための科目を登録した場合は、④は適用しない。

(2) 実習期間

科目名	実習施設	実習期間	備考
保育実習Ⅰ	保育所・ 幼保連携型認定こども園	実習施設が 指定した期間	各10日以上 ※1日8時間×10日 (計80時間以上)
施設実習	施設		
保育実習Ⅱ	保育所・ 幼保連携型認定こども園		

※実習期間は変更となることもある。

施設とは、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、障害児入所施設、障害者支援施設、児童発達支援センター（児童発達支援及び医療型児童発達支援を行うものに限る）、指定障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行うものに限る）、児童相談所一時保護施設又は独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園をいう。

(3) 実習ガイダンス

「保育実習Ⅰ」、「施設実習」、「保育実習Ⅱ」を履修しようとする者は、本学が実施する実習ガイダンスに必ず出席しなければならない。出席しない場合は、原則として履修を認めない。
なお、実習ガイダンスでは、実習に係る手続き等の説明を行う。

(4) 実習施設、実習費

- ・ 保育所は、原則的に実習生が事前に内諾を得ること。
- ・ 施設は、原則として本学が指定した施設とする。
- ・ 実習に必要な費用は、実習生が支払うこと。

(5) 保険、検便

- ・ 「学生教育研究災害傷害保険」、「学研災付帯賠償責任保険」に加入すること。
- ・ 検便（赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌O-157・O-111・O-26等）の結果により、陰性が認められていること。

(6) 実習期間中の欠席

実習期間中の欠席は、実習期間終了後、実習施設の事情の許す範囲内において、欠席期間の実習を実施しなければならない。なお、正当な理由がなく3日以上欠席した場合には、実習を中止させることもある。

(7) その他

その他実習に関わることについては、実習ガイダンスで配付する「実習の手引き」に記載する。

15. 海外研修

本学では、毎年、異文化とのふれあいや国際交流を目的として、9月中旬頃にタイ研修を計画している。日程、費用等は年によって異なるが、希望者は学年を問わず全員参加することができる。詳しくは、オリエンテーションや研修説明会で説明する。